ふくしの町づくり活動支援

地域福祉活動助成金のご案内

一人暮らし高齢者や障がい者、子育て中の親子などが地域の中で孤立することなく、安心して生活できるよう地域住民による支え合い、助け合いの活動に助成します。

たとえば、地域住民やボランティアが主体となり地域の公民館や集会所等を利用して過ごす、"憩いの場づくり"や"見守り声かけ活動"など、誰もが地域の中で安心して健康に生きがいを持って暮らしていけることを目的とします。

助成対象事業

（１）隣近所の見守りや助け合いの強化を強める活動
（２）高齢者や障がい者等は身近な場所で楽しく集う場所づくり
（３）高齢者・障がい者・児童との地域交流
（４）子育て支援の活動
（５）その他目的に照らし事業効果が期待できる活動など

＊老人クラブや婦人会、子ども会などグループ会員のみのためだけに実施する活動は対象外です。

但し、地域福祉活動の目的である住民の仲間づくりの場を設定することで孤立感の解消や地域住民の見守り声かけ運動、介護予防など地域で支え合い助けあい活動につながる活動については審査のうえ助成を決定します。

助成額

１団体２万円を基準とし、開催回数（**年６回以上：３万円、年５回以内：２万円**）に応じて助成額を決定します。

申込期限

８月２９日（金）

申請方法

助成金の交付を受けようとする団体は**申請書（２枚）**に記入のうえ、はあと館へ申し込みしてください。

問い合わせ：みなべ町社会福祉協議会（はあと館）
72-5611（担当：門脇季奈・山下恵里　）

令和６年実績･･･17 団体に助成しました。

昨年度の活動例･･･

●地区敬老会

活動内容と成果

地域の高齢者の孤立を防いだり、高齢者の見守りと親睦を兼ねた交流活動として開催した。地域で高齢化が進んできており、世代交代による後継者の育成や日ごろの見守り声かけ活動の必要性を実感した。

●夏祭り

活動内容と成果

子どもから大人まで地域に住む住民同士が交流することにより昔ながらの近隣関係を再構築する目的で行った。地域全体を対象とした交流イベントにより住民同士が顔見知りの関係をつくる機会にもなり、支え合いのまちづくりにつながっていくことを実感した。

●声掛け見守り活動

活動内容と成果

「住み慣れた地域で暮らし続けたい」という願いを実現するために介護の勉強会や災害時の訓練などの活動を取り入れ、困った時にはお互い声を掛け合える関係づくりを作ることを目的として活動した。「自分たちの命は自分たちで守っていこう」という災害意識をあらゆる場面にいかすことができた。

●いきいきサロン

活動内容と成果

「家の近くで気軽に集まれる場所が欲しい」という声が集まって、ご近所単位でおつきあいの輪を広げる茶話会はじめた。地域の中で孤立しがちな高齢者などが日常的に集まって心の憂さや悩みを晴らすことができる場となった。「一人でいるより仲間といれば楽しいひとときを過ごせる。趣味が見つかれば生活が豊かになる」と参加者の声が聞かれるようになった。

日頃からの近所付き合いや顔の見える関係づくりは、災害時の際や住みよい町づくりにつながります。